

北中学校 第1学年「社会科」シラバス

社会科の目標

- 1 日本の歴史を中心に、その大きな流れと各時代の特色をつかむ。
- 2 広い視野に立って我が国の国土の地域的特色を考察し理解すること。
- 3 地理的な見方を身につけ、我が国と諸外国の歴史や文化との関わりを考え、国際協調の精神を養う。
- 4 身近な地域の歴史や地理、具体的な歴史遺産などを通して、興味・関心を高め主体的に取り組む。

評価の観点

- 1 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。
- 2 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。
- 3 社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に解決しようとしている。

評価の方法及び特色ある学習方法

- 地図帳の活用を図る中で、歴史的分野や地理的分野における社会的事象の定着を図る。作業的学習の取り組み、レポート作成やまとめ・発表会、新聞づくりなど定着。世界の国々の理解。理解した内容を時代考証の中で関連付ける。興味のわく事象を積極的に取り上げ関心を高める。ICTの活用。
- 授業中の態度・取り組み、発言発表等。
- ノートの取り方、プリント、ワーク等の内容・提出状況。
- まとめ、中間、期末テストや小テストなどの達成状況。(観点別評価)

	学習の内容	学習のねらい
1 学 期	○地理の学習 ○世界のすがた	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の国々の特色について ・さまざまな地図をもとに、長所と活用方法を理解する。 ・地球儀と地図の違い、経度、緯度などの基本的な事項を理解する。 ・世界の地域区分と国の形や国名の由来から国を理解する。 ・人々の生活と環境との関わりや、さまざまな条件のもとで多様な生活を営んでいることを理解させるとともに、異なる文化や宗教等もとらえる。 ・歴史の大きな流れをつかむ ・年代、時代区分など歴史的事項を理解する。
	○世界各地の人々の生活と環境	
2 学 期	○歴史のとらえ方	
	○古代までの日本文明の起こりと日本の成り立ち ○古代国家の歩みと東アジア	<ul style="list-style-type: none"> ・日本列島における人々の生活の開始、古代国家の形成と発展のあらましを東アジア世界との関連で理解する。 ・聖徳太子の政治から大化の改新を経て確立した律令国家の変遷を理解する。大陸文化の影響を受け、仏教色豊かな文化が生まれていったことを理解する。律令国家のしくみが整えられ、その後天皇・貴族の政治が展開されるようになる流れを理解する。
3 学 期	○世界の諸地域	<ul style="list-style-type: none"> ・アジア州、ヨーロッパ州、アフリカ州、北・南アメリカ州、オセアニア州の各地域の特色と他地域とのつながりを多角的に考察する。
	○武士の台頭と鎌倉幕府 ○東アジア世界とのかかわりと社会の変動 ○世界の地域の調査	<ul style="list-style-type: none"> ・武士が台頭し武家政権へつながる過程を理解する。また、武家社会が発展する中で、幕府と朝廷との関係、封建制度の変化などから多面的に考察する。 ・調査テーマを決めて、国や地域の調査を多面的に実施し、まとめ発表する。

北中学校 第2学年「社会科」シラバス

社会科の目標

- 1 日本の歴史を中心に、その大きな流れと各時代の特色をつかむ。
- 2 広い視野に立って我が国の国土の地域的特色を考察し理解すること。
- 3 地理的な見方を身につけ、我が国と諸外国の歴史や文化との関わりを考え、国際協調の精神を養う。
- 4 身近な地域の歴史や地理、具体的な歴史遺産などを通して、興味・関心を高め主体的に取り組む。

評価の観点

- 1 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。
- 2 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。
- 3 社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に解決しようとしている。

評価の方法及び特色ある学習方法

- 作業的・体験的学習の充実を図る。「図書館」、ICTの活用。
- 地図帳の活用を図る中で、歴史的分野や地理的分野における社会的事象の定着を図る。「地名さがし」の実施。都道府県の位置、県庁所在地及び名称の定着。
- 大きな時代の流れを定着させ、小学校で理解した内容を時代考証の中で関連付ける。興味のわく事象を積極的に取り上げ関心を高める。
- 授業中の態度・取り組み、発言発表等。
- ノートを取り方、プリント、ワーク等の内容・提出状況。
- まとめ、中間、期末テストや小テストなどの達成状況。(観点別評価)

	学習の内容	学習のねらい
1 学 期	○近世の日本 ・ヨーロッパ人との出会いと全国統一	・ヨーロッパ人の来航の背景を新航路の開拓を中心に考えさせ鉄砲とキリスト教の伝来が日本に与えた影響を理解させる。
	○江戸幕府の成立と鎖国	・江戸幕府成立の経緯と政治制度のあらましと幕府による統制制度・身分制度・産業の発達と政治改革について理解させる。
2 学 期	○身近な地域の調査	・日本の地域的特色を他の事象と関連づけて理解させる。 ・大縮尺の地形図をもとに、土地利用図の作成や東松山市の地域的特色を捉える。
	○日本の諸地域	・世界的視野から見た日本の地域的特色や日本全体の視野から見た国内の諸地域的特色を多角的に捉える。 ・日本が七つの地方の結び付きによって成り立っていることを捉える。
3 学 期	○開国と近代日本の歩み	・日本の近代社会に大きな影響を与えた欧米諸国の近代革命及び産業革命による社会情勢の変化について理解させる。また、列強のアジア進出による江戸幕府経過を理解させる。明治新政府の諸改革の特色を考えさせる。明治維新によって人々の生活が大きく変化したことを理解させ、近代国家への歩みを進めたことを理解させる。近代化を進める中で、なぜ日本は中国やロシアと戦争することになったのかを考えさせる。

北中学校 第3学年社会科（歴史・公民的分野）シラバス

社会科の目標

- 1 日本の歴史を中心に、その大きな流れと各時代の特色をつかむ。
- 2 広い視野に立って我が国の国土の地域的特色を考察し理解すること。
- 3 地理的な見方を身につけ、我が国と諸外国の歴史や文化との関わりを考え、国際協調の精神を養う。
- 4 身近な地域の歴史や地理、具体的な歴史遺産などを通して、興味・関心を高め主体的に取り組む。

評価の観点

- 1 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。
- 2 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。
- 3 社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に解決しようとしている。

評価の方法及び特色ある学習方法

- 地理的分野・歴史的分野について公民的分野の事象との関連を常に意識した授業の工夫を図る。ICTの活用。
- 授業中の態度・取り組み、発言発表等。
- ノートを取り方、プリント、ワーク等の内容・提出状況。
- まとめ、中間、期末テストや小テストなどの達成状況。（観点別評価）

	学習の内容	学習のねらい
1 学 期	○二度の世界大戦と日本 ○私たちの生活と現代社会	<ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦の原因や概要について理解させ、帝国主義の背景等についても理解する。大正デモクラシーや多くの民衆運動を通して大正時代の様子について理解する。 ・世界恐慌の原因と経過、各国の対応を通して日本の大陸進出や軍国主義化の経緯を理解させる。第二次世界大戦の原因や概要について理解させる。 ・戦後の民主化と再建、国際社会への復帰、冷戦、高度経済成長を経て現在の日本の実情について多面的に理解させる。 ・社会と国民生活の変化を捉え現代社会の特色や課題について多面的・多角的に理解する。
2 学 期	○人間の尊重と日本国憲法 ・人権と日本国憲法 ○現代の民主政治と社会 ・地方の政治と自治 ○私たちの暮らしと経済 ・生産と労働 ・価格の動きと金融	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法の基本原理を社会の形成者の立場から理解させ、個人の尊厳と本質的平等・自由と権利、義務等について理解させる。 ・国会を中心とする日本の民主政治の仕組みや政党の役割等を理解するとともに議会制民主主義について理解する。 ・経済活動が人間生活の維持向上のために欠かせないことを理解させ、市場経済の特色・企業の役割と責任についても考えさせる。
3 学 期	○現代社会とわたしたち ・国際社会と世界平和 ・国際問題とわたしたち ○よりよい社会をめざして ○地理・歴史復習	<ul style="list-style-type: none"> ・国際社会が抱える諸問題について関心を高め、様々な資料を適切に収集・選択し多面的・多角的に考察させる。また、国際社会における日本の役割やあり方について考えさせる。 ・持続可能な社会を形成するために解決すべき課題を見だし意欲的に探求しながら自分たちにも何ができるか考えさせる。 ・地理的分野及び歴史的分野について大きくまとめポイントをおさえさせる。